

ご参加いただいた先生方から寄せていただいたご意見を列記させていただきました。多数のご意見、ありがとうございました。

1. 主眼達成に向けた手立てについて

(1) Kさんの作文を資料とし、そうじの楽しさに焦点を当てたことは、生徒自身が自ら掃除や心を見つめながら考えることにつながったか。

・自らの掃除心を見つめることにつながったと考えます。清掃が好きか嫌いかを問われたときに「好き」、「嫌い」と分かれそれぞれの思いや日頃の姿を語っていました。

・普段から「心磨きノート」にふり返りを書いているからこそその成果が見えたように思います。

・「Kさんの心磨きノート」には、Kさんの今までの学びがたくさんつまっていると感じられた。だからこそこの作文を資料として扱ったことは、生徒一人ひとりが自分のことのようにこの作文をとらえ、考えることにつながったと思います。

・教師からの押しつけではなく、子ども自身の心があらわされたものであったのでより身に迫って考えることができたと思う。当初に感じていた「楽しさ」と授業後に思えた「楽しさ」に変化があればより心を見つめ深めていくことにつながっていると思う。

・Sくん、「楽しいという気持ちがあればめんどくさいという気持ちをなくすことができる。」「自分も前向きにやりたい。」と書いており、自らの掃除や心を見つめることになっていた。

・生徒の作文の資料化が身近でよかった。自分なら…、自分は～だ。すごい、うらやましい、と素直に思える資料だったと思います。「楽しい」の理由がゴミがなくなってスッキリ、キレイで気持ちいいにとどまらず、(無言のうちに)他者とのつながりに気づけた生徒が多かったと思います。私自身も考えが浅かったと学びを深める機会になりました。

・生徒の作文を資料としたことはとてもよかったと思いました。身近な友だちの作文は、生徒一人ひとりが自分の心を見つめ返す大きなキックかけになり得ると思います。小学生もよく「楽しい」、「うれしい」という記述をしますが、なぜそう思ったのかは一人ひとりちがいます。そこに焦点を当てたことは、生徒の心に刺激を与えることにつながったのではないのでしょうか。

・授業や整理会に参加させていただいて考えたことは、Kさんはすごいのだが、元々すごかったのか、自問を通して成長したのか、あるいはその両方かという疑問がわきました。宮澤先生が、この生徒の「すごさ」にスポットを当てたことが「すごい」と思いました。

・生徒の作文は生きた教材。主題につながるものである。

(2) 2つの発問は、Kさんの楽しさに寄り添って心磨き清掃への意欲を高めることにつながったか。

・生徒の掃除が「嫌い」って言っていた人の感想は分かりませんが、清掃が「好き」と言っていたKiさんは最後のふり返りのところ「今は少し楽しいと思っけていても、そのうちとても楽しいと思えるようになってくると思う。」と書いているところから、これからさらに楽しさを見つけようと努力するのだと感じました。

・振り返りで「自分のことに重ねて」というような感想への指示がなかったにも関わらず、自分お今後の行動にからめて感想を書いていたので意欲を高めることにつながっていると思われる。

・2つの発問を考えることを通して、Kさんを理解するとともに自分を見つめ直すことができたと思います。

・Mくん「人が困っていたら力になってあげられる力、一人でも考えて行動する力」→「手伝ってと言われなくても拾ってくれたことが嬉しい」→3「親切ができるようになるには…」と深めていった。

・はじめは2つの発問で50分進むのかなと思っていました。しかし、シンプルだからこそわかりやすく、誰もが書きやすい展開（発問）だったと思います。そして、多くの生徒が発言して、肯定してもらえて、それぞれが何か考えがもてたのではないかと思います。

・2つの発問もよかったけれど、Kさんの記述の「無言で」の部分にこだわっていったらどんな考えが出てきたかなあ？と思いました。気働きて、したりされたりすると言葉にならない特別な思いがわいてきますよね、大人でも。そこに迫った授業展開も見てみたかったです。

・「どんな力をつけてきたか」と問いかけたことがよかったと思いました。具体的な答えを生徒から多く出すことができていたと思います。自分なら「どんなふうに成長してきたか」というような発問にしまいそうです。これだと漠然としてしまい答えが活発に出なかつたろうと思います。

・自問によりそういう力が身につくとか、うれしさを感じることでできるという価値に気づかせることができていたので有効だったと思います。

2. 道徳の授業としての視点，評価等について

- ・評価の観点でいくと，今回は「Kさん～心磨き清掃への意欲を高めているか。」
「よ～し，明日から清掃へ取り組むぞ。」のふり返りを書いたのなら A，
「楽しさに気づいたけれど，それと清掃は結びつかないな」が B，
「楽しさかは謎であるけれど，清掃もやっぱり楽しめないな」が C，道徳の評価はそれでいいのか，私自身迷ってしまいました。
- ・他の生徒を語ることで，他の生徒に自分が近づいていき，そして，自分を語ることにつながると思います。本日の授業は「うれしい」，「楽しい」について自分の言葉で語れたことがとてもよかったと思います。
- ・「親切，思いやり」という主題で「親切にしたら親切がかえってきた。」(Mくん，Mさん)という気づきがあったのでよい。
- ・自問清掃は「自らに問う」わけですが，色々な価値があるとあらためて思いました。自分の行動をふりかえる機会，時間であり，今日の授業を通してまた1つ2つ視点が増えた（視野が広がった）と思います。
- ・宮澤先生が見つけた埋蔵金は，とても貴重な大きな大きなお宝ですね。私も埋蔵金をよく見つけます。しょっちゅう見つけます。ただ，箱を開ける鍵を持っていません（笑）。その鍵を見つけていくことが我々の課題だなあと，共感的に先生の反省を聞きました。
- ・生徒の考えを深めるための中心発問がわかりませんでした。「Kさんはどうして掃除を楽しんでいるのだろうか？」がそれに当たるのかもしれませんが，そこに対する答えだけでは，今日，宮澤先生が伝えたかったことにつながらないとは思いました。
- ・考える道徳，討議する道徳という視点からすると若干の物足りなさを感じた。教材を通して，K，Rの疑似体験から実体験へといかにつなげていくかが大切。

3. その他（感想など）

- ・宮澤先生の声がステキでした。文節，単語，間なんか参考になることばかりでした。
- ・生徒の雰囲気がとてもよく，見ていてとても気持ちがよかったです。こういう学級で授業ができる，とてもうらやましく有難いと感じました。日頃の教室がよくわかる授業でした。
- ・「楽しい」という言葉は深い。楽しくないと答えた生徒ほど，その心の奥深さを感じた。短い資料をしっかりと考えさせ，展開させた宮澤先生，生徒たち（純真ですばらしい生徒

たち)が謙虚に述べた「親切の難しさ」,「感謝を感じる事がすばらしい」というコメント。とても勉強になりました。

・自問清掃の持つ意味をあらためて学びました。無言の中にあたたかなつながりを感じ、うれしさを感じる。そんな経験を自分のクラスの子どもたちにも味あってほしいと強く思いました。また、清掃集会、清掃を見させていただいて1つ思ったことは、少ない人数ながら(だからこそ?)「自ら考えて行動して清掃する」姿がすばらしいと思いました。自分の今の学校はしぼり(ルール)がきつすぎて、悪くはないのですが、自ら考えて行動する力があまり身につかないのかも知れないと思い始めました。

・他の皆さんもおっしゃっていましたが、クラスの中にとっても温かい雰囲気があってすごくいいなあと思いました。心の変容がどこかであって、今のこの子どもたちの姿があるんだろうなあ〜と感動しました。

・生徒たちが素直に安心して自分の意見を述べあっていた姿が印象的でした。学級経営がよくなされている現れだと思います。短い資料でしたが、普段の清掃活動と結びついているため、短いからこそ深く生徒たちが読み込んで自らのあり方と重ね合わせていてよかったと思います。

・自問清掃、授業とすばらしい活動を目にすることができ大変感激しました。本当にありがとうございました。
本時のふり返りをKaさんが発表した時に何名もの女子が彼女の方を見つめていた(とても心配そうに?)そのまなざしがとても温かいなあと思いました。

・実際の清掃の様子を見て授業を拝見しましたが、「楽しい」を子どもたちがどう考えているか、さらに深めていく必要があるのかなと感じました。しかし、一人ひとり本当によく考えていたと思います。ありがとうございました。

・生徒が集中して授業に参加していた。どの生徒も課題に十分に取り組み、友だちの意見を聴くなど大変真面目である。学級の間人間関係も良好に見え、学級経営がゆきとどいていると感じた。本日は、いろいろと勉強になりました。ありがとうございました。